

愛知岐阜長野における広域的産業・物流活性化計画

計画概要**◆計画期間**

平成28年度～令和2年度(5年間)

◆計画の目標

本地域は、世界トップクラスの自動車関連産業、世界市場への参入を目指す航空宇宙産業などの関連企業が集積した工業団地や、全国でも上位を占める農産物、高級国産木材として有名な木曾ヒノキを中心とした木材などの流通施設において、密接な連携による産業・物流活動が活発に行われている。さらに、低燃費・次世代自動車、航空旅客機などの世界的な需要の拡大、全国的な食の安心・安全への要求の高まりや信頼性の高い国産木材の需要の増加が見込まれるとともに、既存の中央自動車道、東名高速道路、東海北陸自動車道に加え、新東名高速道路の愛知県内の開通、東海環状自動車道、三遠南信自動車道などの高規格幹線道路の整備が進められており、「愛知・岐阜・長野地域」における産業のポテンシャルが飛躍的に高まっている。

このポテンシャルを活かし、拠点施設と高規格幹線道路を結ぶ道路整備による産業・物流活動の支援を進め、本地域における物流の信頼性・効率性を高め、さらなる産業活性化を図る。

◆計画の成果目標(定量的指標)

【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】製造品出荷額の増加、農林産出額の増加

【愛知県の目標】製造品出荷額の増加、農林産出額の増加

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況

交付対象事業	事業費	事業の実施状況	進捗率※
A 基幹事業(道路事業)	3,138百万円	・一般国道259号(植田拡幅)を始め6路線の道路整備を推進。 ・主に用地交渉の難航により、進捗率が計画を下回った。	31%
C 効果促進事業	-	-	-%
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業	-	-	-%
合 計	3,138百万円		

※事業費は実績値

※進捗率(%)について、全体事業費に対する実績事業費の割合

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・一般国道259号(植田拡幅)を始め6路線の道路整備を推進し、一般県道西尾幡豆線が令和5年3月に供用開始したことにより、拠点施設とIC間のアクセス性が向上し、製造品出荷額の増加に寄与したと考えられる。(別紙1)

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標①(愛知県・岐阜県・長野県の製造品出荷額の増加)

当初現況値	89,561億円	目標値と実績値に 差が出た要因	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の低下により、実績値が目標値を下回ったと考えられる。
最終目標値	95,118億円		
最終実績値	90,130億円		

指標②(愛知県・岐阜県・長野県の農林産出額の増加)

当初現況値	4,557億円	目標値と実績値に 差が出た要因	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の低下により、実績値が目標値を下回ったと考えられる。
最終目標値	4,730億円		
最終実績値	4,320億円		

指標③(愛知県の製造品出荷額の増加)

当初現況値	62,363億円	目標値と実績値に 差が出た要因	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の低下により、実績値が目標値を下回ったと考えられる。特に県内において大きなウェイトを占める輸送用機器(乗用車等)の分野において、大きく減少しており、その影響が顕著に現れていると推測される。しかしながら、拠点施設周辺では新規企業の進出が多く見られ、物流の効率化に寄与したと考えられる。
最終目標値	64,075億円		
最終実績値	59,530億円		

Ⅱ 定量的指標の達成状況

指標④(愛知県の農林産出額の増加)

当初現況値	3,103億円	目標値と実績値に差が出た要因	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の低下により、実績値が目標値を下回ったと考えられる。特に県内において大きなウェイトを占める米、花きの分野において、大きく減少しており、その影響が顕著に現れていると推測される。
最終目標値	3,175億円		
最終実績値	2,914億円		

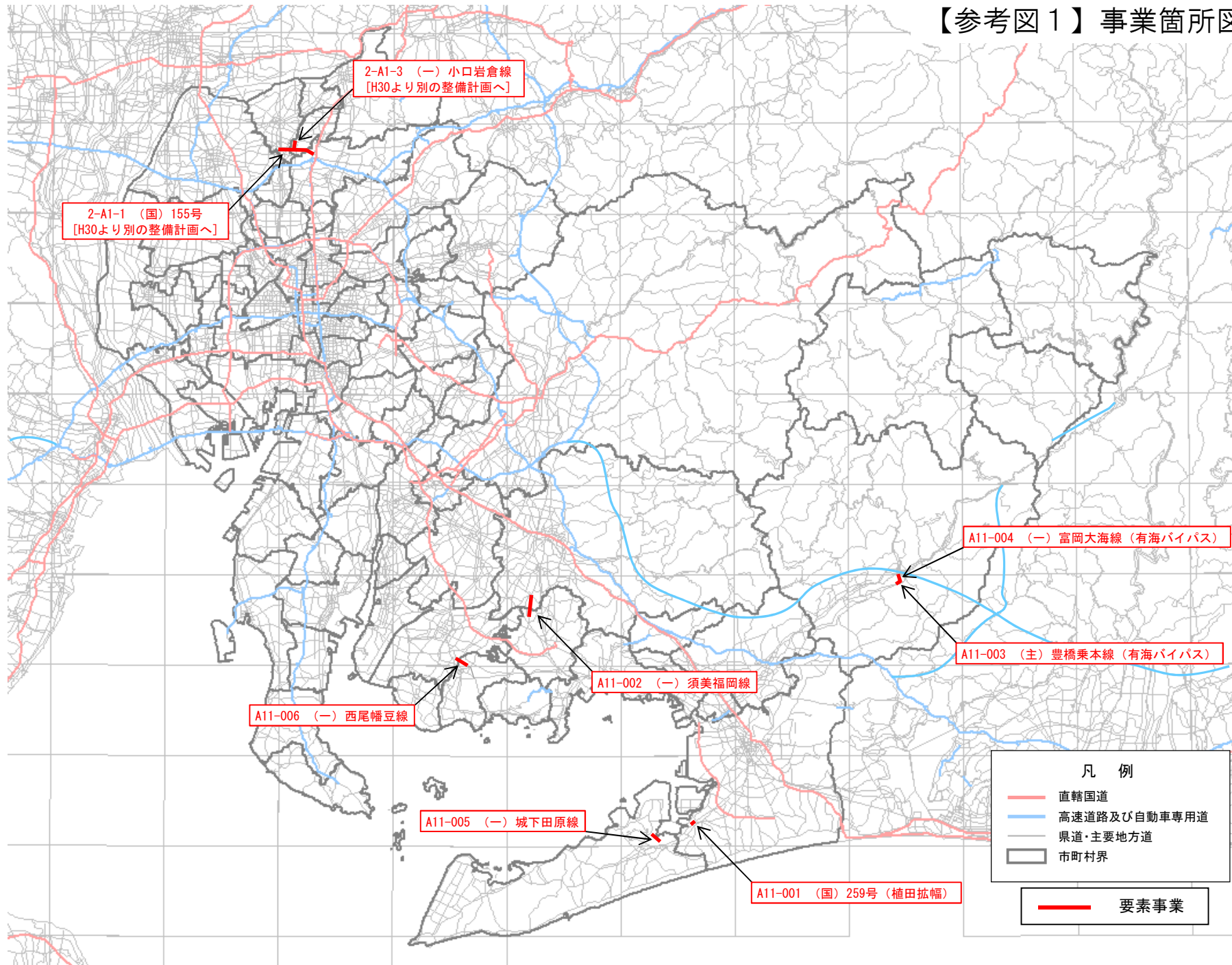
◆今後の方針

・事業中の箇所については、令和3年度からの新規計画「世界ものづくり対流拠点の中部圏における広域的産業・物流活性化計画」に基づき、早期整備完了を目指し、引き続き事業を推進する。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	計画策定主体である愛知県道路建設課において評価を実施し、その結果を学識経験者((公財)愛知県都市整備協会技術アドバイザー制度を利用)へ報告し、参考意見を聴取。
事後評価の実施時期	令和5年10月
公表の方法	WEBページ掲載 (https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kouiki-keikaku.html)

【参考図1】事業箇所図



事業効果の発現状況事例(参考)

【基幹事業】

- 事業名 一般県道西尾幡豆線にしお はず
- 事業区間 西尾市鶺ヶ池町うがいけ～木田町
- 事業概要 L=1.5km 3種2級 W=16m (バイパス整備)

■事業のあらまし

一般県道西尾幡豆線は、当該地域の南北軸を形成する道路であり、また周辺には多くの自動車関連工場が立地している。現道は都市計画道路衣浦岡崎線へのアクセス道路となっているが、幅員狭小であるため円滑な交通に支障を来している。そのためバイパスを整備することにより、幅員狭小区間の解消とともに、拠点施設から岡崎ICまでのアクセス性が向上し、物流の効率化や産業活性化に寄与することが期待される。

■事業の進捗状況

用地交渉の難航により事業進捗が計画よりも遅れていたが、令和5年3月に供用開始した。

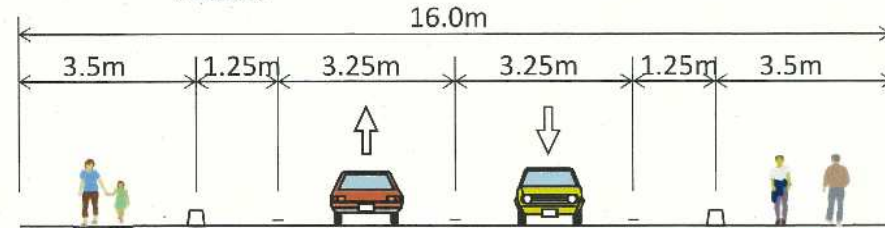


■発現効果

●アクセス距離の短縮
(岡崎IC～拠点施設)
約1.0kmの短縮

●アクセス時間の短縮
(岡崎IC～拠点施設)
約3分の短縮

標準横断面図
(整備後)



現道の状況



整備状況 (R3年度末)



バイパス完成状況



社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月18日

計画の名称	愛知岐阜長野における広域的産業・物流活性化計画												
計画の期間	平成28年度～令和02年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	愛知県												
計画の目標	<p>本地域は、世界トップクラスの自動車関連産業、世界市場への参入を目指す航空宇宙産業などの関連企業が集積した工業団地や、全国でも上位を占める農産物、高級国産木材として有名な木曽ヒノキを中心とした木材などの流通施設において、密接な連携による産業・物流活動が活発に行われている。さらに、低燃費・次世代自動車、航空旅客機などの世界的な需要の拡大、全国的な食の安心・安全への要求の高まりや信頼性の高い国産木材の需要の増加が見込まれるとともに、既存の中央自動車道、東名高速道路、東海北陸自動車道に加え、新東名高速道路の愛知県内の開通、東海環状自動車道、三遠南信自動車道などの高規格幹線道路の整備が進められており、「愛知・岐阜・長野地域」における産業のポテンシャルが飛躍的に高まっている。</p> <p>このポテンシャルを活かし、拠点施設と高規格幹線道路を結ぶ道路整備による産業・物流活動の支援を進め、本地域における物流の信頼性・効率性を高め、さらなる産業活性化を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	10,212	A	10,212	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)										
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値									
		当初現況値	中間目標値	最終目標値							
1	【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】製造品出荷額の増加 (H25) 8兆9,561億円 → (H32) 9兆5,118億円										
	【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】愛知岐阜長野における製造品出荷額の増加	89561億円	億円	95118億円							
2	【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】農林産出額の増加 (H25) 4,557億円 → (H32) 4,730億円										
	【愛知県・岐阜県・長野県 共通目標】愛知岐阜長野における農林産出額の増加(農林産出額:農業産出額及び木材生産産出額)	4557億円	億円	4730億円							
3	【愛知県の目標】愛知県内の製造品出荷額の増加 (H25) 6兆2,363億円 → (H32) 6兆4,075億円										
	【愛知県の目標】愛知県内の製造品出荷額の増加	62363億円	億円	64075億円							
4	【愛知県の目標】愛知県内の農林産出額の増加 (H25) 3,103億円 → (H32) 3,175億円										
	【愛知県の目標】愛知県内の農林産出額の増加	3103億円	億円	3175億円							

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	--	---------------

A 基幹事業																													
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況										
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H28	H29	H30	H31	R02													
一体的に実施することにより期待される効果																													
備考																													
広域連携事業	A11-001	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	国道	改築	(国) 259号（植田拡幅） (A1-2)	現道拡幅 L=0.40km	豊橋市	■	■	■	■	■	1,000		—										
	A11-002	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 須美福岡線(A1-5)	バイパス L=2.10km	岡崎市、幸田町	■	■	■	■	■	3,052	1.9	—										
	A11-003	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(主) 豊橋乗本線（有海 バイパス）(A1-6)	バイパス L=0.50km	新城市			■	■	■	790	5.0	—										
A11-004	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 富岡大海線（有海 バイパス）(A1-7)	バイパス L=0.90km	新城市			■	■	■	570	5.0	—											
A11-005	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 城下田原線(A1-8)	バイパス L=0.70km	田原市				■	■	2,200		—											
A11-006	道路	一般	愛知県	直接	愛知県	都道府 県道	改築	(一) 西尾幡豆線(A1-10)	バイパス L=1.50km	西尾市	■	■	■	■	■	2,600	1.3	—											
											小計						10,212												

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						10,212		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である愛知県道路建設課において評価を実施し、その結果を学識経験者（(公財)愛知県都市整備協会技術アドバイザー制度を利用）へ報告し、参考意見を聴取する。	令和5年10月
	公表の方法 愛知県ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一般国道259号（植田拡幅）を始め6路線の道路整備を推進し、一般県道西尾幡豆線が令和5年3月に供用開始したことにより、拠点施設とIC間のアクセス性が向上し、製造品出荷額の増加に寄与したと考えられる。 ・A11-006：一般県道西尾幡豆線の整備により、岡崎ICから拠点施設である西尾南部地区工業集積群までのアクセス時間が3分短縮
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	交付対象事業を整備したことにより、拠点施設周辺では新規企業が令和3年度に12社、令和4年度に5社進出し、地域の活性化に一定の効果があった。

○特記事項（今後の方針等）

【今後の方針】
 未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。
 (未完了事業) A11-001～A11-005

【学識経験者等の第三者の意見聴取結果】
 今後の方針を了承する。
 新型コロナウイルス感染拡大の影響で製造品出荷額については目標を下回っているが、拠点施設周辺では新規企業進出や既設工場の増設など企業活動は活発化している。このことからポテンシャルの高い地域であるため、さらなる物流の効率化を図るためにも、未完了事業については、事業推進に取り組んでいただきたい。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	製造品出荷額の増加 89,561億円（H25）から95,118億円（H32）に増加（5,557億円（6%）の増加）	
	最終目標値	95118億円
	最終実績値	90130億円
2	農林産出額の増加 4,557億円（H25）から4,730億円（H32）に増加（173億円（4%）の増加）	
	最終目標値	4730億円
	最終実績値	4320億円
3	愛知県内の製造品出荷額の増加 62,363億円（H25）から64,075億円（H32）に増加（1,712億円（3%）の増加）	
	最終目標値	64075億円
	最終実績値	59530億円
4	愛知県内の農林産出額の増加 3,103億円（H25）から3,175億円（H32）に増加（72億円（2%）の増加）	
	最終目標値	3175億円
	最終実績値	2914億円